

2026年4月23日

日本医科大学千葉北総病院

川崎重工業株式会社

日本医科大学千葉北総病院にて 屋内配送ロボット「FORRO（フォーロ）」の運用を開始 ～医療現場の業務効率化と働き方改革を推進～



2台のFORROが待機している様子



検体搬送の受け渡しの様子



日本医科大学千葉北総病院（千葉県印西市、以下 千葉北総病院）と川崎重工業株式会社（以下 川崎重工）は、院内配送業務の効率化と医療従事者の負担軽減を目的として、2026年4月1日より屋内配送ロボット「FORRO（フォーロ）」※による院内配送を開始しました。

今回、運用を開始した「FORRO」は、エレベータを活用したフロア間移動に対応するとともに、複数棟にまたがる長距離配送を可能とする配送ロボットです。

病院内外の関係者の往来、医療機器などの運搬が頻繁にあり、複数階にわたって大きな面積を有する大学病院特有の環境下においても、安全性と安定性を両立した院内配送を実現します。

これまで医療従事者が担っていた検体搬送業務を、「FORRO」が代わりに担うことで、医療従事者が専門性の高い業務や患者さんへの対応に集中できる環境の構築を目指します。これにより、病院が提供する医療の質の向上や業務全体の効率化に繋がっていきます。さらに、病院内の医療従事者が限られる夜間や休日の配送業務にも活用することで、医療従事者の負担軽減を図り、働き方改革の推進にも貢献します。

今回の運用開始により、医療従事者がより専門性の高い医療業務や患者さんへの対応に注力できる環境の整備を図るとともに、配送ルートさらなる最適化や将来的な院内搬送設備の代替も視野に

入れ、安全で質の高い医療の持続的な提供を目指します。千葉北総病院と川崎重工は、今後もロボット技術の活用を通じて、患者さん中心の医療の実現に貢献してまいります。

日本医科大学千葉北総病院について



「患者さんの立場に立った安全で良質な医療の実践と人間性豊かな良き医療人の育成」を理念に掲げ、救急医療および高度先進医療を提供する大学病院として、地域医療の中核的役割を担っています。高度医療センターとしての機能を生かし、川崎重工のBK117ヘリコプターをはじめとするドクターヘリを活用した救急搬送体制の整備に取り組んでいます。先進的かつ持続可能な医療の提供に取り組み、地域医療の発展に寄与しています。

○Webサイト：<https://www.nms.ac.jp/hokuso-h/>

川崎重工業株式会社について

国内外の100に及ぶ関連企業とともに"技術の企業集団"川崎重工グループを形成しています。技術の歴史は100年を越え、磨きあげてきた先端技術をもって新たな価値を創造し、社会の発展に貢献するという理念のもと、陸・海・空はもとより、遙かな宇宙から深海にまで、多彩な製品を送り出しています。○Webサイト：<https://www.khi.co.jp/>

※ 屋内配送用ロボット「FORRO（フォーロ）」

「FORRO」は、川崎重工が「ヒトは、ヒトにしかできないことを。」をコンセプトに、深刻化する労働力不足に対するこたえのひとつとして創出したサービスロボットです。医療従事者とともに働くパートナーであるとともに、患者様からも親しみを持って迎えられる外観を備えています。

(参考リンク) 川崎重工「FORRO」オフィシャル HP

<https://forro-service.com/>

(参考リンク) 川崎重工「FORRO」オフィシャルムービー

<https://www.youtube.com/watch?v=1SuGwgFsNVw>

以 上